

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	P C 部材性能設計法小委員会		主 査 名：北山和宏 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 プレストレストコンクリート構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：西山峰広
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・プレストレストコンクリート(PC)建物の性能評価型設計法を構築すること ・初年度：PC 部材の力学特性についての既往の研究の調査 ・二年度：各種限界状態についての知見収集、合理的な限界状態の設定 ・三年度：PC 部材の性能評価型設計法の原案作成 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	北山和宏(東京都立大学)、河野進(京都大学)、菅田昌宏(竹中工務店)、浅川弘一(オリエンタル建設)、阿波野昌幸(日建設計)、寒川勝彦(ピーエス三菱)、岸田慎司(芝浦工業大学)、岸本一蔵(大阪大学)、是永健好(大成建設)、永井覚(鹿島建設)、浜田公也(ピーエス三菱)、浜原正行(日本大学)、増田安彦(大林組)、溝口茂(高周波熱錬)、福田顕義(オリエンタル建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	不静定応力検討 WG：不静定応力が架構や部材性能および損傷に及ぼす影響を検討し、P C 規準の改定に反映する。		
2007 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：PC 構造研究の現状、新 PC 規準へ向けての活動およびプレストレス技術を有効活用した建物例 参加者数 150 名 『構造部門(PC 構造)パネルディスカッション資料：同上』 (PC 構造運営委員会全小委員会で開催)
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2007 年度当初に設定した目次原案に従って、PC 部材の性能評価型設計法の詳細案を精粗さまざまではあるが提示し、議論することができた。 2. 大会のパネル・ディスカッションにおいて現在の到達点を会員諸氏に提起し、意見を聴取することができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 原案担当項目ごとに 5 グループを作って具体案の審議を行う体制としたが、グループごとの進捗状況に差が生じて全体としてのまとまりにやや欠ける傾向にあった。 2. 2007 年度末までに全項目について原案を提示する予定だったが、一部審議未了の内容があった。